

第四十四回帝國議會
衆議院

都市計畫地方委員會職員ノ恩給及
遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案
市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料ニ關スル法律案
府縣立師範學校校長俸給並公立學校校長退職料及遺族扶助料ニ關スル法律案
明治三十九年法律第十三號中改正法律案
明治四十二年法律第七十一號中改正法律案
明治三十九年法律第七十七號中改正法律案

委員會議錄(速記)第二回

會議

大正十年三月十五日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

八田 宗吉君 佐藤寅太郎君 龍野周一郎君
荒川 五郎君 樋口 秀雄君 石川長右衛門君
出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 馬場 鏌一君
文部省宗敎局長 栗屋 謙君
文部省參事官 武部 欽一君
文部書記官 關屋 龍吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ
關スル法律案

市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改
正法律案

○委員長(八田宗吉君) 是ヨリ開會致シマス

○荒川五郎君 此恩給退職料ノコトニ就テ、モウ一
ツ質問ヲ致シタイト思ヒマシタガ、幸ニ馬場博士ガ

政府委員會席ニ御見エデアリマスカラ御尋致シマス、
文官並ニ軍人ニハ之ヲ恩給ト唱ヘ、ソレカラ教員ヤ
巡查ナドニハ之ヲ退職料ト唱ヘテ居ルノデアリマシ
テ、其名稱ヲ區別サレテ居リマスガ、等シク其精神

ハ恩給デアアル、此度提案ニナリマシタル都市計畫地
方委員會職員ノ如キハ、恩給トシテ恩給法ヲ適用
スルヤウニナッテ居リマス、元ハ主トシテ官職官

制ノコトハ退官退職ヲ目當ニシテ居リマス、隨テ
其等ニハ相當ノ名ヲ用キ、下級ノ者ニハサウ云フコ
トガ無カッタノヲ、後ニナッテ眼中ニ殆ト置カレス、巡

査、看守、教員ト云フ者ニハ、特ニ退職料ト云フ名稱
ヲ付サレテ居リマス、斯ノ如キハ名ヲ一様ニシテ、
簡單明瞭ニスルコト何カノ便利ト心得マス、然ルニ

特ニ別名ヲ今ニ因襲シテ來ラレテ居ル趣意ハ、ドウ
云フ譯デアリマスカ、是ガ第一、ソレカラ第二ニハ、
只今申上ダタ恩給並ニ退職料ノ制度ガ甚ダ複雑極マ

ル、一樣ノ法律ヲ簡明ニ出來ルモノヲ、殊更ニ僅カノ
差違ヲ設ケテ種々ナル法律ヲ澤山出サレテ居リマシ
テ、其官職ニ居ル人、其人ニハソレデ分リマセウ
ガ、一般ノ人ガ見ル場合、並ニ政治家トシテ之ヲ研究
スル場合ナドニモ、甚ダ不便デアルト思ヒマスガ、此
恩給並ニ退職料ニ就テハ簡潔ヲ旨トシテ、總體的ニ
改善セラル、ト云フコトハ、政府ニ於テ考ヘテ居ラ
レマセスカ、又容易ノ事業デナイノデアリマスルガ、
是ガ第二點、ソレカラ第三點ニハ、恩給ト云フモノ、
制度ニ就テ詳シイ説明ハ必要トシマセスケレドモ、
馬場博士ノ豐富ナル蘊蓄ヲ以テ大體ノ御説明ヲ願ヒ
タイ、以上三點ノ質問ヲ致シマス

○馬場政府委員 御質問ノ順序ニ依ッテ御答ヲ申シ
マシテ、更ニ最後ニ多少考ヲ申上ゲマス、御説ノ如
ク今日ノ制度デハ、先ヅ此文武官ニ就テノ恩給ハ所
謂恩給ト稱シテ居リ、待遇官吏即チ學校職員、巡查、
看守ノ如キ、所謂待遇官吏ト吾々が申シテ居ル者ノ
恩給ハ、退職料ト稱シテ居ルノデアリマス、是ハ成程
名稱ヲ異ニシテ居リマスケレドモ、法律上ノ性質ナ
リ又其年金ノ性質ハ全ク同様ノモノト考ヘテ居リマ
スルガ故ニ、今ニ於テ此名稱ヲ踏襲シテ居ルノヲ改
ムルヤ否ヤト云フ問題ニ就キマシテハ、私ハ強テ此
名稱ヲ踏襲スルノ必要ハナイト考ヘテ居リマス、併
ナガラ然レバ恩給ト云フ文字ハ、所謂適當ナル名稱
デアアルヤ否ヤト云ヘバ、是亦大ニ考ヘナケレバナラ
ス、今日デハ本來ノ性質カラ云フコト、恩給ト云フ字其
ノモノガ私ハ必ズシモ適當ナル文字トハ思ヘナイノ
デアリマス、併シ是等ノ點ハ實ハ目下頻リニ攻究中
デアリマス、恩給制度、退職料制度ノ根本改正ノ際ニ
大ニ、此名稱等モ出來得ル限リ統一シ、尙ホ且適當ノ
文字アレバ改メヤウトスラ考ヘツ、アルノデアリマ
ス、ソレカラ此恩給制度並ニ退職料制度ニ就テノ法
律ハ非常ニ數モ多ク、文官ダケノ恩給ニ關スルモノ
ガ約十許リアルト思ヒマス、退職料ノ如キハ十五六

アリマセウ、尙ホ軍人ニ就テモ數箇ノ法律モ出テ居
リ、洵ニ御説ノ如ク全ク複雑極ッテ居テ、私恐ラク當
該職ニ居ル者スラ諒解ニ苦シンデ居ルト思ヒマス、
吾々法律ヲ扱ッテ居ル身ニ於テモ、實ハ此複雑ナルガ
爲メニ、恩給退職料ノ全體ノ制度ヲ吞込ムコトガ出
來ナイ位、實ニ複雑極ッテ居ル、何故ニ複雑極ッテ居
ルカト云フト、是ハ例ヘバ今回ノ都市計畫ニ關係ノ文
官ニ恩給ヲヤルト云フヤウナ事ガアリマスルト直チ
ニソレニ關スル法律ヲ出シ、或ハ又樺太ノ小學校ニ
就テ退職料法ヲ作ルトカ云フ風ニ、從來其根本ノ問
題ニ觸レザルガ爲メニ、其時其時ノ必要ニ迫ラレテ、
謂ハハ其場ニ應ズルダケノ法律ヲ作ッテ參ッタルデア
リマス、此爲メニ全ク今日デハ錯雜極ッタル、殆トド
ウ云フ制度ガ日本ノ退職料ノ制度デアアルカ、恩給制
度デアアルカト云フコトガ、素人デハ到底諒解ガ付ク
マイト思ヒマス、此ニ於テ今攻究ニ著手シテ居リマ
スノハ、新ニ全體ノ恩給退職料制度ヲ何トカ統一シ
タ法律ヲ作リタイ、サウシテ此統一スルニ就テハ、種
々爰ニ攻究スベキ問題ガアルト思ヒマス、第一ニ今
日デハ恩給退職料ヲ受ケテ居リマスルモノ、主體ガ
或ハ國家デアルトカ、或ハ府縣デアルトカ、又其府縣
ニ於ケル市町村立小學校教員ノ如キハ、市町村カラ
或ル程度ノ納付金ヲスルト云フヤウナ財源ノ關係、
給與ノ主體ノ關係ニ於テ甚ダ區々デアアルノデアリマ
ス、其爲メニ昨日モ荒川君ノ御質問ノアッタ如クニ、
或ル教員ガ轉々シテ居ル間ニ退職給與金ノ打切リト
カ、退職料ヲ引受ケナイトカト云フヤウナ、打切計算
ヲシテ給與スルト云フヤウナ關係ヲ生ジテ居リマ
ス、故ニ恩給法規ノ統一トカ、給與ノ主體ヲ統一スル
トカ云フ必要ガアルノデハナイカト思フ、此爲メニ
特別會計ノヤウナモノデモ設ケテ府縣カラ納付サセ
ル、其府縣ノ納付金ノ財源ハ市町村ヨリ納付スルト
云フ風ナ方法ヲ考ヘ、又適當ノ給與方法ヲ考ヘナケ
レバナラス、然ラバ官吏、軍人、學校教員等ニ、ソレノ

レ轉職、轉官シタ場合ニ此恩給退隱料モ給シ得ルト云フコトニ至ルノデハナカラウカ、先ヅ給與ノ主體ノ統一ニ依リ、勤績、轉勤、轉官ニ於ケル年限通算ノ關係、其等ヲ解決シタイト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ進ンデ昨日荒川君ノ頻ニ御質問ノアリマシタ准教員ノ如キモノモ、是モ准教員トシテ退隱料ヲ給與スルカ宜イカ、或ハ准教員ニ對スル年限ハ一年ヲ一年ト算ヘナイ、或ハ半年ト算ヘルト云フヤウニスルカ、其等ノ點モ准教員ノミナラズ、雇員等ニ就テモ、實ハ攻究中デアリマス、而シテ此等ノ問題ハ結局ニ於テハ非常ニ國庫ノ負擔ヲ増加スルト云フコトニ歸著スルデアラウト思フ、現在國庫デ給與シテ居ル恩給退隱料ガ、通算シマシタナラバ、大正十年度デ六千萬圓ヲ超過シテ居ルト思フ、更ニ今申ス如キ制度ヲ實行スルト云フコトニナレバ、恐クハ國庫ノ負擔ハ更ニ渺ナカラズ増加スルデアラウト思フ、ソレカラ又昨日モ御質問ノアリマシタ、公務ノ爲メノ傷痍、疾病者ニ給與スベキ恩給退隱料ト云フヤウナモノモ是モ今日ノ所デハ軍人恩給ニ就テハ勿論デアリマシタ、其他ニ就テモ非常ニ給與ガ少ナイノデアリマス、是ハ殊ニ軍人ノ戰傷ノ爲メニ不具ニナツタ者トカ、其他巡査、看守等ノ公務ノ爲メニ不具ニナツタ者ハ、此等ノ者ハ殆ト生活ノ出來ナイモノヲ、今日給與シテ居ルノデアリマス、之ニ就テハ國家ノ重大問題ト考ヘマシテ、私共及バズナガラ是ガ増加ニ就テハ適當ナル方法ヲ講ジタイト思フ、昨日荒川君ノ言ハレタ、渺ナクトモ生活ノ最少限度ヲ給スルト云フコトハ、國家ノ焦眉ノ急務デアルト思フ、之ヲ行フニハ渺カラズ國庫ノ金ヲ要スルノデ、而モ是ハ將來ノモノノミナラズ、現在ノモノニ就テモ給與シナケレバナラスト云フコトニナルト、實ハ渺カラズ財源ヲ要スルノデアアル、ノミナラズ一般ノ恩給退隱料ト云フモノハ、今日ニ於テハ増加スルノ必要アルコトハ何人モ疑ハナイ、斯ノ如クニシテ行ツタナラバ、或ハ所謂公務ニ就ク人間ガ將來多數得ラル、デアラウカ、渺ナクトモ官吏等ニ就テノ相當ノ人才ヲ官海ニ誘致スルコトガ出來ルト思フ、是ハ恩給制度ニ就テ考ヘテ見ナケレバナラスト思フノデアリマス、併シ

是トテモ之ヲ増加シマスルニ就テハ、相當ノ財源ヲ要シ、且ツ近來ノ趨勢ニ依リマス、既ニ恩給ヲ溯及スルト云フヤウナコトガ從ツテ行ハレテ居ルノデアリマス、爾カスレバ元來恩給ヲ受ケ居ル者ニモ亦増額シナケレバナラスト云フ問題ヲ生ズルノデアリマス、ソレデスウナリマス、恐クハ一億圓以上ノ金ガナケレバ、恩給問題ノ根本解決ハ出來ナイト思フ、吾々ハ其財源ト云フコトニ就テハ餘程憂慮ヲシテ居ルノデアリマス、渺クモ財源ノ容ス範圍ニ於テ、今日ノ恩給退隱料制度ニ依ツテ、根本的ニ解決シタイト云フノデ、目下法制局ト恩給局ニ於テ協力シテ此等ノ制度ヲ調ベテ居ルノデアリマス、元來恩給ノ根本觀念ト致シマシテハ、私ノ信ジテ居リマスル所デハ、國家ノ事務ニ從事シテ居ル間ニ、何等蓄財スルダケノ俸給ヲ今日給與サレテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、此間ニ國家ノ公務ニ從事シテ其能力ヲ消耗スル、其能力ノ消耗ニ對シテハ、國家ナリ、公共團體ナリハ、其退職後ニ於テハ其生活ヲ支持シ得ルダケノ給與ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ當然ノ任務ト考ヘルノデアリマス、故ニ私共ハ恩給ト云フ文字スラモ適當デナイト思フ、居ルノデアリマス、併ナガラ此問題ハ一般ノ「サラリーメン」ト云ヒマスルカ、俸給ニ衣食スル者ニ對シテハ餘程根本的ノ制度ヲ立テマセスト、大キナ社會問題ヲ生ズルト私ハ思フ、居リマス、故ニ昨日ノ荒川君ノ御質問ハ、吾々此恩給制度ノ統一ヲ解決致スニ非常ニ參考ニナルト考ヘテ居リマス、尤モ御意見ノ全部ヲ採用スルコトハ困難デアルト思ヒマス、財源ノ容ス範圍ニ於テ、適當ノ解決ヲ致シタイト、斯ウ云フコトデ目下頻ニ努力シテ居ルト云フコトヲ、今日此處ニ申上ゲテ置キマス

○荒川五郎君 御懇切ノ御説明ヲ感謝致シマス、尙ホ此恩給制度ニ就テハ、多大ノ注意ヲ拂ウテ居ルト云フコトヲ承ツテ、満足ニ思ヒマス、就テハ特ニ私共ノ最モ今日ノ時勢ニ於テ遺憾ト考ヘマスルノハ、近年法律制度モ多ク民衆化スルト云ヒマスルカ、一般的ニナツテ、殊ニ下ニ厚イト云フヤウナ精神モ探ラレテ居ル、而シテ大正九年法律十號ノ如キハ、上ニ薄クシテ下ニ厚クセラレタノデアリマス、然ルニ其大正九年法律十號ヲ當嵌メラレル所ノ根本法ナルモノガ、全ク其根本精神ヲ異ニシテ打立テラレテ居ルノデアリマス、ソレニ向ツテ此時勢的ノモノヲ一寸上ツテ、外套ヲ著セタヤウナ有様ニナツテ居ルノデ甚ダ實際ニ其精神ヲ貫徹セヌ場合ガ多イト思フノデアリマス、吾々一個人デアリマシタナラバ、吾等ノ召使ノ者、家族ノ者等、苟モ一家ニ居ル者ハドウシテモ生活サシテ行カケレバナラズノデアリマス、國家ガ國家ニ必要ナル官職ニ使ウテ、其人ハ精神身體ヲ捧ゲテ盡シテ居ル者ニ、費用ガ多ク要ルカラ此邊デ打切ラウトカ云フヤウナコトハ、今日ノ時勢ニ顧ミテ最モ注意ヲ要スル事ト思フノデアリマス、行政ヲ整理シ、官制ヲ改革シ、其他ノ方法ヲ執ツテモ、苟モ國家地方ニ於テ必要トシテ使ツタル者ニ對スル相當ナル待遇ノ法ハ、立テラレンケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フコトガ國民思想ノ上ニハ重大ナル關係ヲ持ツモノデアルト思ヒマス、殊ニ巡査、教員ノ如キ人民ニ直接スル、其等ノ職業ニ從事スル所ノ者ニ、十分ナル満足ハ與ヘラレヌニシテモ、精神的ニ慰安、若クハ國家ノ涙ニ感ズルダケノ途ヲ開クコトハ、一日ノ急ヲ要スルコト、考ヘマス、此見地ヨリ致シテ、巡査、看守ノ退隱料、遺族扶助料ト云フヤウナ如キニシテモ、或ハ教員ノ退隱料、遺族扶助料ノ如キニシテモ、多々改正ヲ要スル點ガアルト思フノデアリマス、例ヘバ職務ノ爲メニ傷痍ヲ受ケ、若クハ疾病ニ罹ツタル者、ソレガ爲メニ不具癱瘓トナツテ職業ニ從事セラレヌ者ノ如キハ、月給ニ拘ラズ、又勤務年數ニ拘ラヌモノト思フノデアリマス、其人ガ立行ク法ヲシナケレバナラズ、恩給並ニ退隱料ナルモノヲ、勤績年數ニ依ツテ其厚薄ヲ分ツノハ、其職務ニ從事スベキ一ノ獎勵法デアリマシテ、其點ニ於テ異存ハアリマセスケレドモ、職務ニ付レ、或ハ職務ノ爲メニ一身ノ經濟力ヲ失フト云フ者ノ如キハ、給料ニ拘ラズ、年數ニ拘ラズ、十分ニ立行クコトハ出來ナイニシテモ、可ナリニ生命ハ維持スルコトヲ出來サス法ヲ圖ランケレバナラヌコト、考ヘマス、此點ガ最モ今日迄ノ制度ガ時勢的ニ合ハナイ缺點デ

アラウト思フノデアリマス、將來此法典ニ手ヲ入レ
ラレル場合ニハ、是等ニ深く御考慮ヲセラル、コト
ハ、賢明ナル當局者ニ申上ゲル迄モナイト心得マス
ガ、此際特ニ一言申上ゲテ置キマス、其意味ヨリシテ
御尋シタイノハ、只今職務上傷病ヲ受ケ、疾病ニ罹リ
タル者ノ救助ニ就テハ、全體ノ法典ヲ整理セラルル
以前ニ急ヲ要シハシマセカ是ガ第一點、モウ一ツ
ハ職務カラノ結果デ一年ニ不具癡疾ニナッタラ恩
給退隱料ヲヤル、斯ウ云フコトガドノ法律ニモアル
ヤウニ思ヒマス、職務ノ結果ニ依ッテ或ハ怪我ヲシ、
或ハ病氣ノ結果ニ依ッテ不具癡疾ニナルノハ、一
箇年內ニ傷病或ハ困難ヲ生ズルヤラ、一箇年後ニ生
ズルヤラト云フコトハ、其時ノ狀況其人ノ身體並ニ
諸般ノ關係ニ依ッテ分ルマイト思フノデアリマス、等
シク職務カラ起キタモノヲ、一年內ニ結果ガ現ハレ
タモノハ救済スルケレドモ、一年後ニ現レタモノハ
シナイト云フガ如キハ、餘リニ形式ニ拘ハッテ、サウ
シテ恩給ヲ與ヘマイ、退隱料ヲ省カウトスルト云フ
ヤウニ、冷酷ナル法律——法律ハ冷酷デアルモノ、
如キ感ジヲ與ヘルノデアリマス、是等モ法典總テノ
整理以前ニ於テ速ニ修正セラルベキモノト思フノデ
アリマス、如何デアリマスカ

○馬場政府委員 全ク御説ノ大體ニ於テ、公務ノ爲
メニ傷疾疾病ニ罹ッタ者ノ恩給ヲ、必シモ在職年數
若クハ退職當時ノ俸給等ニノミ拘ラナイデ、生活シ
得ル最少限度ノ恩給ヲ尠クモ給與シ、尙ホ在職年數
若クハ退職當時ノ俸給ノ大ナルモノニ就テハ、相當
ニ増加ヲシテ給與スルト云フコトハ、大體ノ御説ニ
就テ私ハ同意見デアリマス、併ナガラ然ラバ此際根
本ノ制度ニ手ヲ觸レナイデ、是ダケヲヤルト云フコ
トニ就テハ、是ハ少シク考ヘタイト思フノデアリマ
ス、何トナレバ成程此等ハ焦眉ノ急デアリマスガ、
私等ノ感ズル所ニ依レバ、是等ノ問題モ焦眉デア
ルガ、一般他ノ點ニ於テモ可ナリ焦眉ノ點ガアルノデ
アリマス、故ニ成ベク根本改正ヲ急ギマス同時ニ、
此問題ヲ併セテ解決シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ附加ヘテ申上ゲタイノハ、今ノ一年內ニ公
務傷病ノ原因ニ依ッテ退職シタト云フコトガ分ッ

場合ニ今日限ッテ居ルガ、ソレハ冷酷デアル、此點
ニ就テモ吾々ノ見解ニ於キマシテハ、必シモ成程一
年ト限ルト云フコトハ酷デアルカモ知レナイ、併ナ
ガラ是ハ無期限ニ何年後ニデモ公務ノ爲メノ傷疾疾
病デアルト云フコトヲ證明シ得ルカト云フコトニナ
ルト、是ハ實ハ醫學上ノ問題デハナイカト思フノデ
アリマス、此點ニ就テハ、醫學大家ノ説ヲ徵シマシ
テ攻究シタイト思ッテ居リマスガ、今日迄ノ考デハ
之ヲ無期限ニスルト云フコトハ、其間ニ果シテ公務
ニ基イタル疾病デアルヤ否ヤト云フコトノ證據ガ餘
程薄弱ニナリハシナイカ、若シ誤ッテ然ラザル者ニ
恩給ヲ給與スルトコトニナリマシテハ、是亦一方ニ厚
クシテ、所謂宋襄ノ仁ノ誹ヲ免レナイノデアリマス
カラ、此點ハ餘程十分ナル研究ヲ遂ゲマセスト、直チ
ニ御意見ニ御同意スル譯ニ參リマセス、只今御話ニ
ナッタ大體ニ就テ、此根本改正ヲ大ニ急グト同時ニ適
當ナル解決ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○委員長(八田宗吉君) 當席ヨリ質問致シマス、縣
視學、郡視學 是等ガ小學校教員ノ在職年數ヲ通算
サル、ト云フコトニ、今回ノ法律デハ改ッテ參リマ
シタコトハ、非常ニ從來小學校長カラ郡視學等ニ轉
ズルト云フコトヲ厭ッテ居タモノヲ、其弊害ナカラ
シムルヤウニナッテ參リマシタノデ、洵ニ教育界多年
ノ希望ヲ實現サレタ狀態デアリマスガ、郡視學ガ更
ニ縣視學ニ移タト云フ場合ニ於キマシテモ、矢張同
一程度ニ御取計ニナルカドウデスカ、詰リ縣視學ト
郡視學ト云フモノヲ、同一ナル通算年數ニ通算サル
ルコトニナッテ來マセウカ

○馬場政府委員 其通りデアリマス
○委員長(八田宗吉君) 其次ニ市町村立小學校云々
ト題目ガアリマス爲メニ、師範學校ノ附屬小學校、
此等ニ奉職シテ居ル教員ハ此恩典ニ浴スルコトガ
出來ナイヤウニナッテ居ルノデアリマス、即チ市町村
立ト規定サレタル爲メニ、附屬小學校ニ居ル教員
ハ此待遇ニ浴スルコトガ出來ナイカラ、附屬小學校
教員ニ轉ズルコトヲ厭ヒ、又附屬小學校ニ長ク居ル
コトヲ嫌フコトニナッテ參リマスガ、是ハ此弊害ヲ矯

正スル爲メニハ、府縣市町村立或ハ公立、斯ウ云フ文
字ニ改メテ、同一ナル待遇ニナル、コトヲ教育界ニ
於テハ希望シテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ
政府當局ノ御考ハ如何デアリマスカ

○栗屋政府委員 此退隱料ハ小學校教員退隱料ト
ナッテ居ル爲メニ、附屬小學校教員ニ轉ジタ場合ニ不
利益ニナルデハナイカ、何トカ改メテハドウカト云
フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ不利益ニナル點ハア
リマスガ、全然退隱料ノ適用ガナイ譯デハアリマセ
ス、勤續ト云フ點ニ於キマシテ、小學校ノ教員ノ方
ガ勤續シマス、大變率ガ宜クナッテ居ル、ソレデ附
屬ノ小學校ノ方ニ轉ズル、或ハ始メカラ附屬小學校
ノ教員デアルト、是ハ一般他ノ公立學校ノ職員退隱
料ノ方ニ依ルカラ、小學校教員ノ率ノ宜イ退隱料ガ
取レナイコトニナル、此點ニ於テ多少不利益ニハナ
リマスガ、併ナガラ一般ノ文官ト較ベマシテハ、決
シテ不利益ニハナッテ居ラナイ、ソレデ附屬小學校ノ
方ヘ行ク者ガ、此爲メニ多少減リハシナイカト云フ
御心配デアリマスガ、或ハサウ云フコトガアルカモ
知レマセス、併シ附屬ノ小學校ハ一縣ニ於テ模範的
ノモノデアリマシテ、將來榮達ノ途モ遙ニ開ケルノ
デアリマスカラ、是ガ爲メニ行クコトヲ嫌フコトハ
實際ニ於テハ餘リ無イデハナイカト思フ、併ナガラ
其性質ニ就テ申シマス、等シク小學校ノ教育ヲヤ
テ居ル譯デアリマスカラ、之ヲ何トカ改メルコトニ
就テハ尙ホ十分考慮ノ餘地アリト考ヘルノデアリマ
ス、此點ニ就テハ曩ニ馬場政府委員ノ御答ノアリマ
シタ通り、根本的調査ノ際ニ十分考慮ヲ加フベキモ
ノデアリマシテ、差當リ直チニ之ヲ變ヘル運ビニハ
ナリ兼ネマス、根本調査ノ際ニ十分考慮ヲ加フルコ
トニ致シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(八田宗吉君) 他ニ質問ゴザイマセスカ
——質問ハ是デ終了致シマシタ、明日此委員會ヲ開
イテ決定致シタイト思ヒマス、本日ハ是デ散會致シ
マス
午前十一時十五分散會

大正十年四月二十二日印刷

大正十年四月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局